

体験学習カード

作成日 2019/ 7/ 1.

<p>体験内容 ※</p>	<p>「義足でおさんぽ」</p> <p>パラスポーツなどで、ぎ足の選手の活躍が多く報じられています。子どもたちにとって、障がい者は可哀そうな存在から、スター選手としてリスペクトする存在への転換点にあります。義足体験は、より身近なものに感じてくれたらと思います。</p>	
<p>対象年齢</p>	<p>子ども用義足 6歳以上 大人用義足 フリー</p>	
<p>参加条件</p>	<p>特にありません</p>	
<p>定員</p>	<p>特にありません</p>	
<p>所要時間</p>	<p>義足装着 3分 コース1周 6分 3分間隔でスタート</p>	
<p>場所 (スペース、設備等)</p>	<p>体育館又は校庭(コンクリートなど硬質床は避けたい) 長方形エリア(30m×5m)</p>	
<p>持ち込み備品</p>	<p>義足 3セット (オキノスポーツ義肢装具よりレンタル) 段差ブロック 三角コーン</p>	
<p>スタッフ数</p>	<p>義足装着サポート 1名 歩行サポート 2名×2セット=4名</p>	
<p>依頼者が準備する 備品</p>	<p>長テーブル 1脚 椅子 2脚</p>	
<p>開催時期</p>	<p>義足レンタルのため、希望日の1ヶ月前に開催を決定してください。</p>	
<p>問合せ先 ※</p>	<p>★狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234) ☎03-5761-5556 FAX 03-5761-5033 Email:info@vc.komae.org ★狛江視覚障害者の会 事務局 宇多川清治 ☎090-9144-9384 Email:se-udagawa@tuba.ocn.ne.jp</p>	
<p>備考 (費用、駐車場、 控室等)</p>	<p>義足レンタルの費用と運賃が掛かります。</p>	



「義足でおさんぽ」

- ① 健常者の体験用義足を装着して、コースを1周します。
- ② コースには段差や障害物を置き、6分程度で歩けるコースを設定します。
- ③ 体験者の左右にサポート係が付き添い、転倒防止に努めます。
- ④ 体験者によって、両側から手で支えることにより、難易度を下げることができます。

「ちゃれんじクラブ」が目指すこと

障がい者の住みやすい社会は、全ての人にとっても住みやすい社会であることを理解し、全ての人と共に暮らせる社会を目指します

遊び

- ① 遊びのルールとして、障がい者の置かれた制限(ハンディ)を子どもに体験してもらいます。
- ② 楽しく遊びながら、モチベーションを維持し能動的に課題へ取り組むことができます。
- ③ 参加しやすく間口を拡げ、これまで関心の薄かった子ども達の参加を促します。

体験

- ① 知識ではなく、心と身体で体験するを基本に、障がいについて考える出発点にします。
- ② 正しい答えを提供するのではなく、幾つかの選択肢から、その子なりの答えを出せる余地を残します。
- ③ 与えられた制限(ハンディ)を乗り越え、課題をクリアすることで、自分が壁に直面した時、それに立ち向う勇氣を持って欲しい。

気づき

何に気づいて欲しいの... ?

障がい者の暮らし、障がい者の世界が特別なものでなく、すぐその隣人の暮らしと、何ら変わらないと言うことを感じ気付いてくれることを目指します。

